

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

■地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日時：令和2年8月7日（金曜日）10時00分～11時00分

場所：しおさい会議室

出席者：8人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人		
事業所職員（職名：施設長 施設課長 ユニットリーダー）			3名

報告事項：

利用者の状況

- ① 入所者の人数 20名（退所2名 入所2名 定員20名）
- ② 要介護度 要介護5 6名 ・ 要介護4 14名  
要介護3 0名 ・
- ③ 男女比率 男性7人 ・ 女性13人
- ④ 年齢 61歳～100歳 平均86.1歳

### 1. 活動状況報告

- ① 介護職員数 12名
- ② 有資格者数 9名（介護福祉士）
- ③ 感染症罹患者 0名
- ④ 苦情相談 0件
- ⑤ 身体拘束 0件
- ⑥ 介護事故 6月～7月 10件（転倒2件、座り込み2件、ずり落ち1件、表皮剥離2件、打撲1件、皮下出血1件、擦り傷1件）
- ⑦ 外出者 1名（地元墓地へ墓参り）

- ⑧ ボランティア 2件（書道教室2回）
- ⑨ 特養全体行事 3件（歌の広場2回、七夕の飾りつけ、作品作り）
- ⑩ ユニット行事 0件
- ⑪ その他 0件

## 2. 利用状況、介護状況報告

施設長より挨拶：鳥取市と米子市にコロナが発生した。島根県での罹患者は全員退院した。当法人は面会を予約制にし制限解除していたが県立大学でコロナがでたことをきっかけに現在は制限している。予約制で窓越しの面会は許可している。「持ち込まない」ということで協力をお願いしたい。

## 3. サービス提供の状況

コロナの関係で皆で集まったの企画や行事は控えている。例年好評の納涼祭も密になるため中止した。来年は開催できたらと考えている。

7月16日 地元の墓地へ墓参り

61歳女性：お母さまが本館に入所されていたが亡くなられた。昔からなじみの関係の福祉タクシーさんに協力を得、町内の店で花とお菓子を買い、担当職員と共に墓参りに行った。墓の前では手を合わせお母さまと会話している様子だった。

### うたの広場はユニットごとに機能訓練指導員が企画し開催

毎月恒例行事で、歌を歌ったり、利用者同士で顔を合わせることが楽しみの一つであったが、今回はユニットごとに開催。昔よく聞いていた音楽を歌い、歌詞をみることで手や口のリハビリにも繋がってくる。利用者同士も一緒に歌詞カードをみたり、お互いを気にし合ったりと良い関係性ができている。男性で日中機嫌が悪く過ごしている方が、歌の広場に参加すると穏やかな表情をされ昔の話を沢山してくださる。

### ユニットごとの七夕の飾りつけ

自分で短冊に願い事を書くことが出来る方は書かれて笹に飾りつけされた。書けない方は代筆で家族や職員が書いた。願い事としては「感謝の気持ちを忘れず、生かしてもらいたい」「元気にくらしたい」など。現在短冊はユニットに貼っている。

#### 家族とのつながり

看取りの方や最近入所された方で窓越し面会をされた。窓越しではあるが娘様、孫がわかるようで手を振り、とてもうれしそうな表情をされていた。また娘様と電話でお話されお菓子を持って来てほしいとお話されていた。

#### 4. サービスへの要望、助言、質問等

(地域住民代表) 窓越し面会に関して。大田に大阪、千葉から帰省してきた人がいた。

その人が、窓越しの面会は寂しいが顔を見れて安心したと話をしていた。

→ (施設長) どこも面会を制限している。全く面会できないところもある。しおさいは予約制でルールを守ったうえでの窓越し面会をお願いしている。帰省者へ面会にこないでほしいとは言えないので顔だけでも見て帰ってもらえたらと思う。

(市役所職員) お盆での帰省の問い合わせはあるのか

→ (施設課長) いまのところはない。こちらから家族へ都度連絡している。家族は事務所で差し入れを渡し、そこで様子を聞いている。顔を忘れないようにするため1週間に1回窓越し面会される家族もいる。

(市役所職員) 引き続き感染予防対策、熱中症予防対策をしていってほしい。

(家族代表) お世話になっている。家で見ることは中々できない。家で見ていたときは安易に外出もできなかった。昔は施設がなく、家で親を送っていたがそのような時代はどうやって見ていたのか。自分自身が普通の生活を安心しておくる事ができている。笑顔で介護は出来なかった。

(施設課長) 現在、在宅からの施設入所が少なく病院や、施設からの入所がほとんどである。

(施設長) 面会に関して、看取りの利用者家族についてはルールを守って面会を許可している。基本は窓越し面会とオンライン面会。職員の大田市外への出張は取りやめている。帰省の家族へは検温依頼の文書を出している。

## 5. サービス評価の結果報告

働く職員がニコニコと笑顔で生活を支えている。今回は職員の顔写真も紹介した。今後も季節の飾りやコロナウイルスの様子をみながらユニット行事に力を入れていきたい。

特別養護老人ホームしおさい新館

運営推進会議委員によるサービス評価の結果報告

実施日：令和2年 6月 5日（金）11時00分～施設内見学を終える

結果報告

No 1

<b>1. 見たり聞いたり触れたりして今後も継続して欲しいと思ったこと</b>
<b>(1) 職員の接遇（あいさつ・表情・言葉・対応など）</b>
○忙しい中、笑顔で対応されていて、非常に良かったと思います。他4名 ○外部の人に対して表情が優しい。
<b>(2) 身体介護（安全性・ゆったり差・自立促し、気がねの無さ等）</b>
○いつも職員さんの目が届く体制になっていて安心できる。 ○利用者ひとりの個性と生活リズムに合わせた居室で、プライバシーが守られており、施設ではありますが、家庭的な雰囲気の中で過ごされている様子が伺えました。 ○家具の位置など安全性が考慮されている。 ○利用者とコミュニケーションが図れている。 ○入所し、お世話になられた家族によりますと、良いお世話をして下さったと感謝をしておられました。
<b>(3) 健康管理（人員体制・医療提供状況等）</b>
○看取りケアも家族と連携が整っており、嘱託医との連携、オンコール体制等24時間体制がしっかりできており、今後とも継続して欲しいと思います。 ○主治医先生と協力して対応して下さいますように。 ○眠りスキャンを導入し利用者の安全確保と職員の負担軽減につなげている ○定期的に職員研修が行われている。
<b>(4) 食事（食事形態・栄養改善等）</b>
○その人に合った食事が提供されている。食べやすいように工夫されている。 ○『無理なく食べて頂く』をモットーとして、利用者の状態によって食事形態やカロリーが計算されて、食事提供することで健康が保たれていると思います。毎日の献立が、利用者の方が見えるところに置いてあり、食事は楽しみのひとつだと思うので、今後も継続してほしいと思います。
<b>(5) 空間快適性（臭い・照明・室温・明るさ・人の視線等）</b>

- 今まで施設を利用された家族、現在入所されている何人かの家族の話によればいい環境だと言われています。
- 初めて施設見学をさせて頂きましたが、室内が明るく、天井が高いのでとても広く感じました。また、臭いも感じなかったです。室内から中庭が見えるので、外部の様子もうかがえるように思いました。

特別養護老人ホームしおさい新館

運営推進会議委員によるサービス評価の結果報告

No 2

<b>2. 見たり聞いたり触れたりして今後に期待したいと思ったこと</b>
<b>(1) 職員の接遇（あいさつ・表情・言葉・対応など）</b>
○今後も変わらずに対応して頂けたらと思います。
○大変良いので現状の意識レベルを維持。
<b>(2) 身体介護（安全性・ゆったり差・自立促し、気がねの無さ等）</b>
○満足しています。
○今後も家庭的な雰囲気そのままに利用者が出来るところは促していただけたらと思います。見学時にも歩行器を利用してゆっくりと自力で移動や移乗できるようにポータブルトイレが側にありました。
<b>(3) 健康管理（人員体制・医療提供状況等）</b>
○今後も大変だとは思いますが、引き続き継続をお願いします。
<b>(4) 食事（食事形態・栄養改善等）</b>
○食事は楽しみのひとつ。また、健康管理に繋がるので引き続き継続をお願いします。
○季節や行事、昔を感じる食事の提供を期待したい。
<b>(5) 空間快適性（臭い・照明・室温・明るさ・人の視線等）</b>
○今後とも、季節感がある雰囲気作りをお願いします。
以上

ご回答ありがとうございました。

皆様のご意見を真摯に受け止め、これからのケアの充実と資質向上に役立てていきます。